

【二月の言葉（令和三年）】

かけがえのないあなた  
かけがえのないわたし

仏教に「唯<sup>ゆい</sup>無<sup>む</sup>二<sup>に</sup>」という言葉があります。「唯一」は「ただ一つ」、「無二」は「二つとない」の意で類義語ですから、同じ言葉をくり返して強調しているのです。それほどまでに「かけがえのない」という意味の言葉です。

「あなたは、あなたであることにおいて尊い(かけがえのない)存在である」  
この事実に向き合っていたいただきたいと思います。

『命は大切だ 命を大切に』

そんなこと 何千何万回言われるより

「あなたが大切だ」

誰かがそう言ってくれたら それだけで生きていける』(日本公共広告機構CM)

理屈ではなく、大切にされている実感を得ることができた時、人間は自分にも相手にも慈<sup>いづく</sup>しみを持てるようになるのではないのでしょうか。

「南無阿弥陀仏」の六文字は、

「あなたこそが大切だ！」

との仏さまの側からの呼び声です。そして、その呼び声は、果てしない過去から永劫<sup>えいけう</sup>の未来まで、いつも、あなたに向かっても、私に向かっても、絶え間なく発せられています。